

四季折々の 少年自然の家



忙しい日々のなか、自然と触れ合う機会がほとんどないという人も多いのではないのでしょうか。「お金も時間もあまりかけず、身近なところで自然を楽しみたい」という人におすすめのスポットは、保品にある少年自然の家です。教育活動の一環として市内の小中学生が宿泊学習を行うほか、子ども会や学童保育などの団体が日帰りや宿泊でキャンプファイヤーなどのさまざまなプログラムを体験できます。主催事業などは家族や個人でも利用でき、野鳥や野草など四季折々の自然と触れ合えます。ここでは女性版記者が施設の魅力や、これからの季節のおすすめの事業を紹介します。問い合わせは、少年自然の家☎488-6538へ。

アクセス

- ◆コミュニティバス
村上駅コース
「自然の家入口」
下車徒歩3分
- ◆東洋バス(勝田台駅北口発)
「阿宗橋」行きで、
「保品」下車徒歩5分、
「もえぎ野車庫」行きで、
終点「もえぎ野車庫」下車
徒歩20分
- ◆自家用車
駐車場は最大
30台まで。

豊かな里山で 四季折々の自然が楽しめます

集団宿泊生活や野外活動などを通し、子どもたちが心も体も健やかに育つことを願って昭和49年にオープンした少年自然の家。
市内にいながら四季折々の野草を観察できたり、メジロやシジュウカラなどの野鳥を間近に見ることができるあって、24年度は1万1,000人以上の人が利用しています。

個人・家族が利用できる主催事業

少年自然の家では、個人や家族が利用できる次のような主催事業を行っています。参加者の募集は随時広報やちよに掲載しています。

- 野草に親しむ会（4月・9月頃）…自然の家周辺を散策し、講師から野草の名前の由来や特徴を教わります。
- 星空を見る会（5月・7月・9月・1月・3月頃）…プラネタリウムで「今晚の星空」を見た後、屋上から実際の星空を見ます。口径150ミリメートルの望遠鏡を使い、木星の縞模様や土星の環なども観察できます。※今号7ページに募集あり
- 野鳥に親しむ会（2月頃）…講師と一緒に野鳥観察室や自然の家周辺で野鳥を観察します。
- 自然写真・スケッチ展（5月頃）…自然の家やその周辺で見られる動植物など「自然」をテーマにした作品を市民から募集し、展示します。
- 親子ふれあい自然体験教室（7月・3月頃）…1泊2日で、野外炊事や天体観望などさまざまな体験ができます。※今号7ページに募集あり
- 夏休み子どもプラネタリウム…夏休み中の平日に開催。小さな子どもでも楽しめるよう普段よりもやさしい内容で上映します。
※植物観察園の開放（通年）、
野鳥観察室の開放（1～3月）、
プラネタリウム一般公開は、
右ページで詳しく紹介



団体に利用したい人は

子ども会など、小中学校の児童・生徒で構成される30人以上の団体が、日帰りや宿泊で施設を利用できます。
焼き板クラフトや野外炊事、流水実験など、さまざまなプログラムを体験できますが、学校などの宿泊学習がある場合は、そちらが優先になります。空き状況や利用方法など詳しくは、電話で少年自然の家☎488-6538または、同所ホームページへ。

【室内プログラム】



▲天体観望



▲キャンドルサービス

他にもプラネタリウム、石の工作、木の工作、花や葉っぱのペーパーウエイト、竹トンボ、竹細工、リースづくり、室内ゲーム大会、焼き板クラフト、野鳥観察などがあります。

【屋外プログラム】



▲野外炊事



▲流水実験

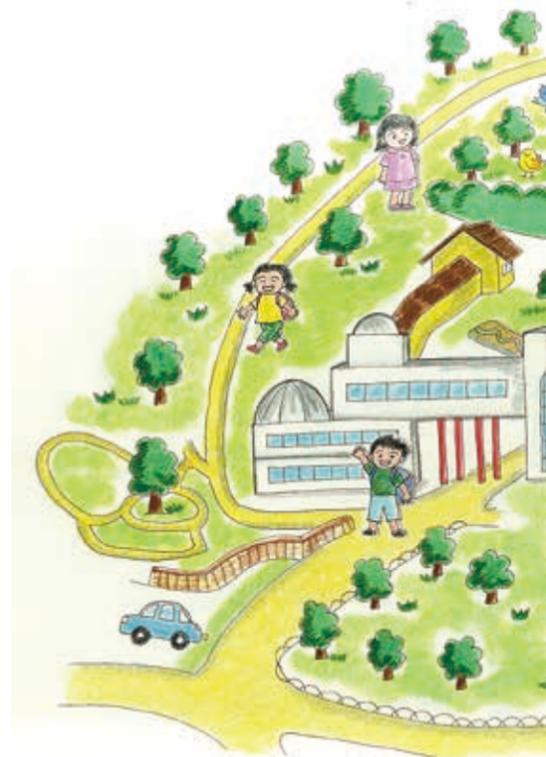


▲キャンプファイヤー



▲オリエンテーリング

他にもネイチャーゲーム、ハイキング、ナイトハイク、野草スケッチ、ペットボトルロケットなどがあります。



記者が 体験

焼き板クラフトに 挑戦しました

焼き板クラフトは、杉板を焼いて木目がきれいに浮き出るまで磨き、壁掛けやミニ看板を作ります。記者が体験してみました。

①杉板を準備

手頃な大きさに切っておけば、コースターなどにもなります。



②杉板を焼く

両面を均等に焼く。焼き過ぎると板が反ったり、形がくずれたりします。